

編集後記

前号(第28号)の「編集後記」の中で、編集長の丸山空大先生が、「人工知能の長足の進歩により、いよいよ思考や判断をも外部化するわたしたちの姿は、しなやかでみずみずしい脆弱さからはずいぶんと隔たってしまったのかもしれない」と綴られていました。丸山先生の言葉に導かれるように、「人智を超えた智」という、今号の特集テーマを設定したときには、私もまた、現代における人間の知的営みに対してそこはかたない不安のような感情を持っていたのかもしれない。「わからないこと」や語られなかったことの謎に近づくことの可能性と不可能性が、現代のアメリカ文学およびブラジル文学の中で、推理小説における謎解きの語りをずらしながら問題化される様子を論じた加藤論文と武田論文。現代南アジアの政治詩が、宗教的語彙を用いて、世俗化した、混沌とした社会にある超越的な秩序のイメージをもたらそうとする試みに光を当てたタリク論文。——お寄せいただいた論文はいずれも、私の当初の予想を裏切り、現代の文学が、非常に人間的な方法で既存の知を越えようとする姿であり、このような文学的試みが存在することに勇気づけられる思いがしました。

末尾になりましたが、今号の刊行にあたってお世話になった方々にお礼を申し上げます。原稿をお寄せいただいた先生方と査読にご協力いただいた先生方。編集委員の前田和泉先生、丸山空大先生、野平宗弘先生。そして何よりも実際の作業にあたってくださったスタッフのみなさま。みなさまのご助力のおかげで、今号を無事に刊行できました。どうもありがとうございました。

(西岡あかね)



投稿規定

1. 『総合文化研究』は、東京外国語大学総合文化研究所の研究活動の成果ならびに所員の研究成果の発表のために、同研究所の責任において編集・刊行される。なお、本誌掲載の論文等に関しては著者が著作権を有するが、著作権法で規定する複製権及び公衆送信権については、著者は国立大学法人東京外国語大学にその使用を許諾するものとし、本誌掲載論文等は同大学によって電子化・公開される。
2. 『総合文化研究』は原則として年度ごとに1号を発行する。同研究所は同誌発行のために編集委員会を置く。
3. 投稿は、同研究所の所員ならびに同研究所の研究活動に寄与した者が執筆した、未発表の論稿に限る。
4. 編集委員会は、必要に応じて外部の者に寄稿を求めることができる。
5. 内容区分は「特集論文」「自由論文」「随想・創作」「書評」「報告」とする。
「特集論文」: 特集テーマに沿った、執筆者自身による未発表の研究論文（10,000-20,000字程度、英文要旨、キーワード）。
「自由論文」: 特集テーマ以外の、執筆者自身による未発表の研究論文（10,000-20,000字程度、英文要旨、キーワード）。
「随想・創作」: 執筆者自身による紀行文、エッセイ、詩や小説等（20,000字以内）。
「書評」: 書評・新刊紹介等（8,000字程度）。
「報告」: 同研究所で開催した講演会・シンポジウム等の報告（1,200-2,500字程度）。
6. 上記5つのカテゴリーのうち「特集論文」および「自由論文」は査読制とする。査読者による査読を経て、最終的に編集委員会が掲載の可否について決定する。
7. 原稿は、横書きで後注とし、参考文献は本文の後に付すこと。なお、使用言語は特に制限しない。ただし、印刷の都合上、言語によっては、写真製版用完全原稿を要求することがある。
8. 写真・図表等は完全原稿とし、希望の大きさと挿入箇所を指定すること。
9. 投稿原稿は、返却しない。

Trans-Cultural Studies, Vol. 29
総合文化研究 第29号

2026年3月19日発行

責任編集 西岡あかね

編集スタッフ 粟生田杏奈 岡田莉子
カルロ・ストランジェス
佐護愛 田代智恵子
横山綾香

発行 東京外国語大学 総合文化研究所
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
電話 042-330-5409
Fax 042-330-5410
Web <http://www.tufs.ac.jp/common/fs/ics/>
e-mail tufs.ics@gmail.com